

# 「子どもにとって楽しい 学校って、どんなもの？」

ージャーナリストが不登校と  
学校の現実から考えたことー

**講師 平舘 英明さん**

【 著書 】「死活ライン 『美しい国』の現実(リアル)」 (株)金曜日  
「教育を、取り戻す 『壊憲』教育に抗う人々」 (株)金曜日

去る10月末文科省から昨年度の不登校小中学校  
児童生徒の統計が発表されました。35万3970人  
にものぼり、12年連続して最多です。10年前と  
比べると小学生は5・5倍、中学生は2・2倍にな  
ります。

小中学生の自死者も政府白書によると529人と  
なり最悪の状態です。ますます学校が子どもたち  
にとって辛い場になっている深刻な状況がひしひ  
しと伝わります。

今回は、子ども、保護者など現場にこだわる取  
材から不登校や学校の問題に迫ろうと奮闘されて  
いる「ジャーナリスト平舘 英明さん」のお話で  
す。学校は子どもにとってどんな場所になると楽  
しいのか、生き生きと生活するために先生や保  
護者などとはどんな視点が大事かなどをお話してい  
たきます。

講演後に不登校等で悩む保護者の方や教職員・  
地域の方たちと一緒に考える交流会を持ちます。  
ぜひ、お気軽にご参加ください。

日時 2026年**2月14日(土)**

**14:00～16:30** 開場 13:30

場所 **鶴見公会堂** 第1・2号会議室

横浜市鶴見区豊岡町2-1フーガIビル西友6F

資料代 **¥500**

申し込み 2月12日(木)まで

お名前、電話番号を明記し、  
下記のメール、またはQRコードで  
申し込みをお願いします。

[info@freespace-tanpopo.com](mailto:info@freespace-tanpopo.com)

申し込みQRコード



## 【当日のスケジュール予定】

- 講演後に当事者の声
- ① フリースペースたんぽぽの卒業生から
- ② フリースペースたんぽぽ保護者から
- ③ 学校現場の教職員から
- その後にグループに分かれて交流をします



《主催》 NPO法人子どもと共に歩むフリースペースたんぽぽ

《共催》 神奈川県立青少年センター 【令和7年度ひきこもり等地域理解促進事業】

《たんぽぽ連絡先》 TEL/045-834-7970 mail: [info@freespace-tanpopo.com](mailto:info@freespace-tanpopo.com)

たんぽぽHP



## 【 講師 平館 英明さんのご紹介 】

▶ 1964年福島県生まれ。

業界専門誌の出版社勤務を経て、2001年以降フリージャーナリスト。

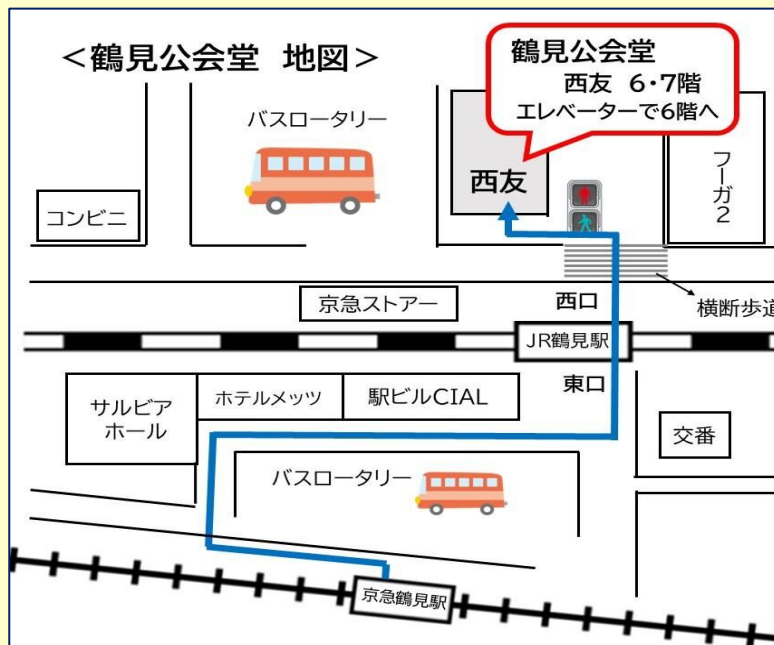
おもに教育や労働現場を中心に、保育、医療、介護、生活保護、郵政、自死・遺族、ギャンブル依存症など身近な社会問題をテーマに取材している。

最近、不登校や学校の問題を取材し、『週刊金曜日』では「子どもも大人も『学校が苦しい』不登校41万人 教師休職7000人の現実」というテーマでルポルタージュを執筆した。



「学校は子どもから見放されている。ある教師の言葉である。  
・・・不登校の増加は旧態依然の学校に『NO』を突き付けている。  
そして、学校をめぐるっては、大人も苦しんでいる。」

(上記、記事から抜粋)



## 【会場案内】 鶴見公会堂 地図

〒230-0062  
横浜市鶴見区豊岡町2-1 フーガ1 6・7階

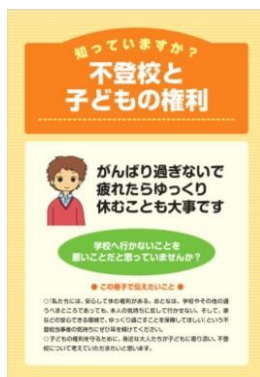
JR鶴見駅西口改札から徒歩2分  
京急鶴見駅から徒歩5分

★鶴見駅西口2階改札口から  
階段を下りずに、歩行者用デッキを通り、  
西友2階からエレベーターに  
乗ることもできます。

## 小冊子刊行中



## 公式SNS配信中



子どもの権利条約に  
ついて



不登校経験者の声

